



InterScan Messaging Security Virtual Appliance™ 9.1 Patch 3

クイックインストールガイド



Messaging Security

※注意事項

複数年契約について

- ・ お客さまが複数年契約（複数年分のサポート費用前払い）された場合でも、各製品のサポート期間については、当該契約期間によらず、製品ごとに設定されたサポート提供期間が適用されます。
- ・ 複数年契約は、当該契約期間中の製品のサポート提供を保証するものではなく、また製品のサポート提供期間が終了した場合のバージョンアップを保証するものではありませんのでご注意ください。
- ・ 各製品のサポート提供期間は以下のWebサイトからご確認ください。
<https://success.trendmicro.com/jp/solution/000207383>

著作権について

本ドキュメントに関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。トレンドマイクロ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本ドキュメントまたはその一部を複製することは禁じられています。本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本ドキュメントの記述に誤りや欠落があってもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。本ドキュメントおよびその記述内容は予告なしに変更される場合があります。

商標について

TRENDMICRO、TREND MICRO、ウイルスバスター、InterScan、INTERSCAN VIRUSWALL、InterScanWebManager、InterScan Web Security Suite、PortalProtect、Trend Micro Control Manager、Trend Micro MobileSecurity、VSAPI、Trend Park、Trend Labs、Network VirusWall Enforcer、Trend Micro USB Security、InterScan Web Security Virtual Appliance、InterScan Messaging Security Virtual Appliance、Trend Micro Reliable Security License、TRSL、Trend Micro Smart Protection Network、SPN、SMARTSCAN、Trend Micro Kids Safety、Trend Micro Web Security、Trend Micro Portable Security、Trend Micro Standard Web Security、Trend Micro Hosted Email Security、Trend Micro Deep Security、ウイルスバスタークラウド、スマートスキャン、Trend Micro Enterprise Security for Gateways、Enterprise Security for Gateways、Smart Protection Server、Deep Security、ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス、SafeSync、Trend Micro NAS Security、Trend Micro Data Loss Prevention、Trend Micro オンラインスキャン、Trend Micro Deep Security Anti Virus for VDI、Trend Micro Deep Security Virtual Patch、SECURE CLOUD、Trend Micro VDI オプション、おまかせ不正請求クリーンナップサービス、Deep Discovery、TCSE、おまかせインストール・バージョンアップ、Trend Micro Safe Lock、Deep Discovery Inspector、Trend Micro Mobile App Reputation、Jewelry Box、InterScan Messaging Security Suite Plus、おもいでバックアップサービス、おまかせ！スマホお探しサポート、保険&デジタルライフサポート、おまかせ！迷惑ソフトクリーンナップサービス、InterScan Web Security as a Service、Client/Server Suite Premium、Cloud Edge、Trend Micro Remote Manager、Threat Defense Expert、Next Generation Threat Defense、Trend Micro Smart Home Network、Retro Scan、is702、デジタルライフサポート プレミアム、Airサポート、Connected Threat Defense、ライトクリーナー、Trend Micro Policy Manager、フォルダシールド、トレンドマイクロ認定プロフェッショナルトレーニング、Trend Micro Certified Professional、TMCP、XGen、InterScan Messaging Security、InterScan Web Security、Trend Micro Policy-based Security Orchestration、Writing Style DNA、Securing Your Connected World、Apex One、Apex Central、MSPL、TMOL、TSSL、ZERO DAY INITIATIVE、Edge Fire、Smart Check、Trend Micro XDR、Trend Micro Managed XDR、OT Defense Console、Edge IPS、Trend Micro Cloud One、およびスマスカは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

本ドキュメントに記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2021 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

P/N: MSEM99154/201120_JP (2021/05)

プライバシーと個人データの収集に関する規定

トレンドマイクロ製品の一部の機能は、お客さまの製品の利用状況や検出にかかわる情報を収集してトレンドマイクロに送信します。この情報は一定の管轄区域内および特定の法令等において個人データとみなされることがあります。トレンドマイクロによるこのデータの収集を停止するには、お客さまが関連機能を無効にする必要があります。

InterScan Messaging Security Virtual Appliance により収集されるデータの種類と各機能によるデータの収集を無効にする手順については、次の Web サイトを参照してください。

<https://www.go-tm.jp/data-collection-disclosure>

重要： データ収集の無効化やデータの削除により、製品、サービス、または機能の利用に影響が発生する場合があります。InterScan Messaging Security Virtual Appliance における無効化の影響をご確認の上、無効化はお客さまの責任で行っていただくようお願いいたします。

トレンドマイクロは、次の Web サイトに規定されたトレンドマイクロのプライバシーポリシー（Global Privacy Notice）に従って、お客さまのデータを取り扱います。

https://www.trendmicro.com/ja_jp/about/legal/privacy-policy-product.html

目次

第 1 章：インストール

システム要件 6

IMSVa をインストールする (CentOS Linux 7) 6

索引

索引 17

第 1 章

インストール

IMSVa のインストール処理では、既存のシステムがフォーマットされ、IMSVa がインストールされます。インストールの手順は、基本的にはベアメタルと VMware ESX 仮想マシンプラットフォームで同一です。ベアメタルのインストールでは、IMSVa インストール DVD を起動するとインストール手順が開始します。VMware のインストールでは、仮想マシンを作成してからインストールする必要があります。

このガイドでは、OS として CentOS Linux 7 をサポートする IMSVa のインストール方法について説明します。

この章の内容は次のとおりです。

- [6 ページの「システム要件」](#)
- [6 ページの「IMSVa をインストールする \(CentOS Linux 7\)」](#)

システム要件

最新の情報については弊社の「最新版ダウンロード」サイトにある最新の Readme をご参照ください。

http://downloadcenter.trendmicro.com/index.php?clk=left_nav&clkval=all_download®s=jp

IMSVA をインストールする (CentOS Linux 7)



注意

現在のビルド 2047 には IMSVA 9.1 Patch 3 のすべての機能が含まれており、ビルド 2048 以降の HotFix がサポートされます。

IMSVA では、CentOS Linux 7 OS をサポートする自己完結型のインストールを実行できます。



注意

上位/下位デバイスを構成する場合は、すべてのデバイスを CentOS Linux 6 または CentOS Linux 7 のいずれかに統一して、異なる OS のデバイスが混在しないようにしてください。

手順

1. IMSVA のインストールを開始します。

システム要件については、[6 ページの「システム要件」](#)を参照してください。

- ベアメタルサーバの場合
 - a. ベアメタルサーバが CentOS 7.7 x86_64 をサポートしていることを確認します。
 - b. IMSVA インストール DVD を目的のサーバの DVD ドライブに挿入します。

- c. ベアメタルサーバの電源をオンにします。
- VMware ESX 仮想マシンの場合
 - a. VMware ESX サーバ上に仮想マシンを作成します。
 - b. 仮想マシンを起動します。
 - c. IMSVA インストール DVD を、次のいずれかの方法で仮想 DVD ドライブに挿入します。
 - IMSVA インストール DVD を ESX サーバの物理 DVD ドライブに挿入します。そして、仮想マシンの仮想 DVD ドライブを物理 DVD ドライブに接続します。
 - 仮想マシンの仮想 DVD ドライブを IMSVA-9.1-2047-x86_64.iso ファイルに接続します。
 - d. VMware 管理コンソールで [仮想マシン] > [Ctrl+Alt+Del の送信] の順にクリックして、仮想マシンを再起動します。

画面には次のオプションのある [IMSV 9.1 Setup Wizard] が表示されます。

- Fresh Install: 新しいハードウェアまたは仮想マシンに IMSVA をインストールする場合、このオプションを選択します。
- System memory test: メモリ診断テストを実行する場合、このオプションを選択します。
- Exit installation: インストール処理を終了してローカルディスクから起動する場合、このオプションを選択します。

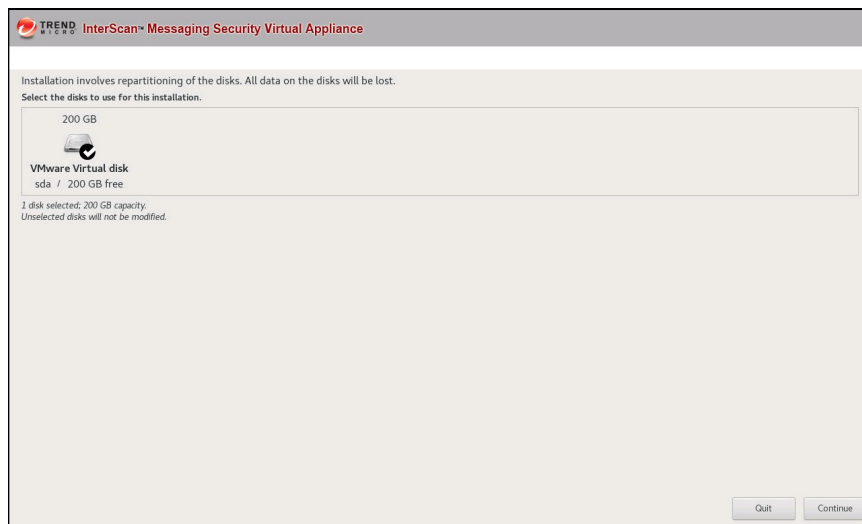


2. [Fresh install] を選択します。
- 使用許諾契約書の同意に関する画面が表示されます。



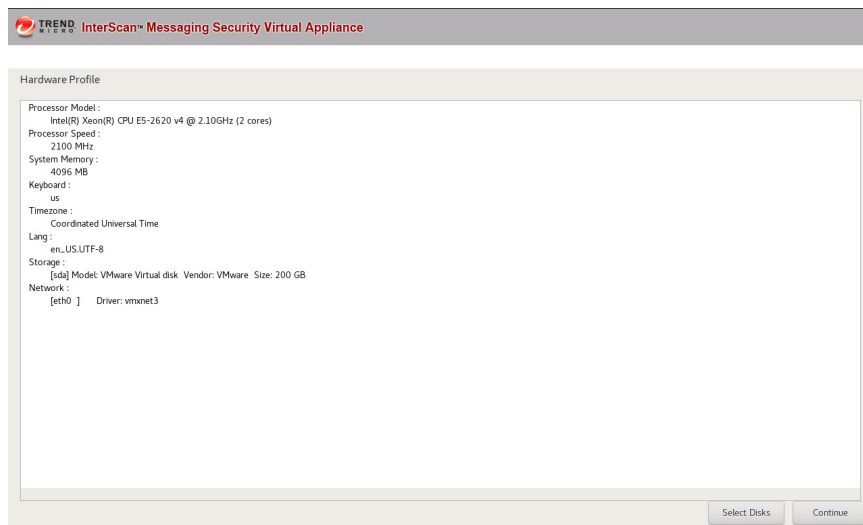
3. 使用許諾契約書の内容に同意できる場合は [Accept] をクリックして続行します。

インストールに使用するディスクを選択するための画面が表示されます。



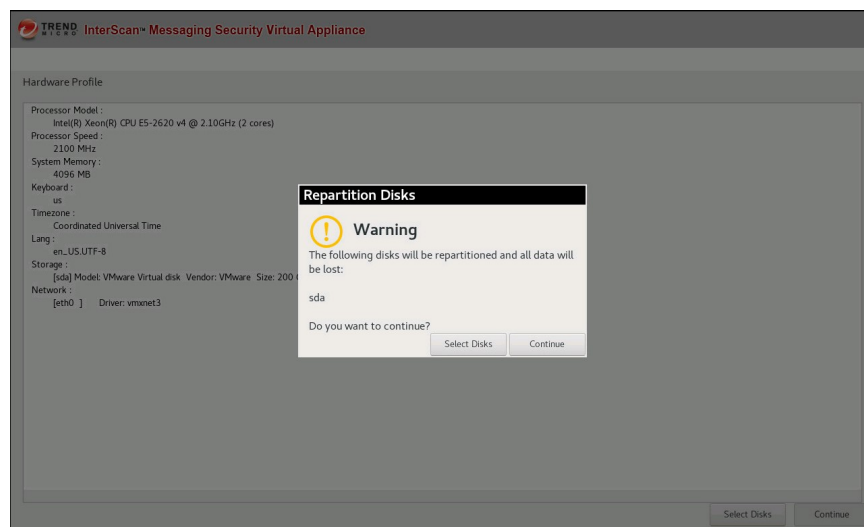
4. ディスクを選択して、[Continue] をクリックします。

ハードウェアプロファイルの確認画面が表示されます。IMSVa インストールプログラムがハードウェアを検索し、最小要件が満たされているかどうかを調べます。



5. 情報を確認して、[Continue] をクリックします。

警告画面が表示されます。



6. すべての情報が正しければ、[Continue] をクリックして続行します。

ディスクのフォーマットが開始されます。フォーマットが完了すると、IMSVa のインストールが開始されます。



7. インストールが完了したら、DVD をドライブから取り出し、再インストールが行われないようにします。

インストールが完了すると、IMSVa が再起動されます。IMSVa が再起動されると、CLI の初期ログオン画面が表示されます。

```
Trend Micro InterScan Messaging Security Virtual Appliance (IMSVa)

To manage IMSVa through the graphical user interface (GUI), open a browser window and choose any URL
from the following list:

    https://192.168.252.1:8445

You will be prompted for your administrator account and password.
Refer to the Administrator's Guide for the default account and password.

To manage IMSVa through the Command Line Interface (CLI),
log on using the following logon prompt. Refer to the Administrator's Guide
for the default account and password.

localhost login: _
```

8. IMSVa にログオンします。

a. 次の初期設定のアカウント情報でログオンします。

- ユーザ名: `admin`
- パスワード: `imsva`

b. 特権モードに入るには、プロンプト「>」で次のアカウント情報を入力して、<Enter> キーを押します。

- ユーザ名: `enable`
- パスワード: `Trend#2`

特権モードでは、続行する前に「enable」と「root」の両アカウントの初期設定のパスワードを変更するように求められます。

c. 指示に従って、2つのアカウントの初期設定のパスワードを変更します。

```

Default password is used by user "enable". Please change the password.
Changing password for user enable.
New password:
Retype new password:
passwd: all authentication tokens updated successfully.

Default password is used by user "root". Please change the password.
Changing password for user root.
New password:
Retype new password:
passwd: all authentication tokens updated successfully.

Entering privileged mode...
#

```

9. ネットワーク設定を完了します。これにより管理コンソールにアクセスできるようになります。
 - a. 次のコマンドを実行して、ネットワーク設定を開始します。


```
configure network basic
```
 - b. 次の各ネットワーク設定を行い、<Enter> キーを押します。

表 1-1. ネットワーク設定

パラメータ	説明
Host name	この IMSVA ホストの適切な完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力します。
IPv4 address	IMSVA 管理インタフェースの IPv4 アドレスとサブネットマスクを入力します。
IPv4 gateway	適切な IP アドレスを入力して、この IMSVA のインストールに対するゲートウェイとして使用します。
Preferred IPv4 DNS	適切な IP アドレスを入力して、この IMSVA のインストールに対する優先 DNS サーバとして使用します。
Alternate IPv4 DNS	適切な IP アドレスを入力して、この IMSVA のインストールに対する代替 DNS サーバとして使用します。

パラメータ	説明
(Optional) IPv6 address	オプションで、IMSSVA 管理インタフェースの IPv6 アドレスとサブネットマスクを入力します。

- c. 「**y**」と入力し、設定を確定して再起動します。

指定したネットワーク設定が実装され、すべてのサービスが再起動されます。初期設定が完了し、IMSSVA 管理コンソールにアクセスできるようになります。

10. (オプション) 外部データベースを使用する場合は、次のコマンドを実行して外部データベースを初期化します。

```
#/opt/trend/imss/script/cfgtool.sh init_new_ext_admindb  
admin_db_address admin_db_port admin_db_user  
admin_db_password admin_db_name
```


索引

さ

最小要件, 6

システム要件, 6

や

要件, 6

